

石川県における基本計画の概要

計画のポイント

本県は、機械、繊維、食品、ＩＴ関連産業を中心とした製造業が多く集積し、高い技術力により特定の分野でシェアトップを誇る、いわゆるニッチトップ企業も多く、さらには、食材、伝統工芸、観光資源等の地域資源が存在している。今後、県内の産学官関係機関が連携し企業の競争力強化や産業構造の多軸化の取り組み等を後押しすることで、付加価値額の増大を図るとともに、新たな雇用を創出していくことで、地域の事業者に対する相当の経済的効果をもたらすことを目指す。

促進区域

石川県全域（金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町）

経済的効果の目標

促進区域内の製造業の付加価値を５年間で５％増加させることを目標とする。平成２６年度付加価値額は９，８４３億円であり、令和５年度末に１兆３４５億円とすることを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件１：地域の特性を活用すること（①～⑥のいずれか）】

- ①石川県全域の製造業（機械・繊維・食品・ＩＴ関連産業）の集積を活用した成長ものづくり分野（炭素繊維、航空機、ライフサイエンスの成長分野や事業の高度化等）
- ②石川県全域のニッチトップ企業等の集積を活用した成長ものづくり分野（炭素繊維、航空機、ライフサイエンスの成長分野や事業の高度化等）
- ③石川県全域のＩＴ関連産業の集積を活用した第４次産業革命（ＩｏＴやロボット技術を活用した製造業の生産性向上等）
- ④石川県全域の食材、伝統工芸等の豊富な特産品を活用した農林水産・地域商社
- ⑤石川県全域の豊富な観光資源（歴史及び文化等の特徴ある資源）を活用した地域づくり
- ⑥石川県全域の３大都市やアジアへとつながる北陸新幹線、金沢港や小松飛行場・能登空港等の交通インフラを活用した物流関連産業

【要件２：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：３，９０９万円超

【要件３：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 取引額：５％以上増加
- 売上額：５％以上増加
- 雇用者数：３％以上増加
- 雇用者給与等支給額：３％以上増加

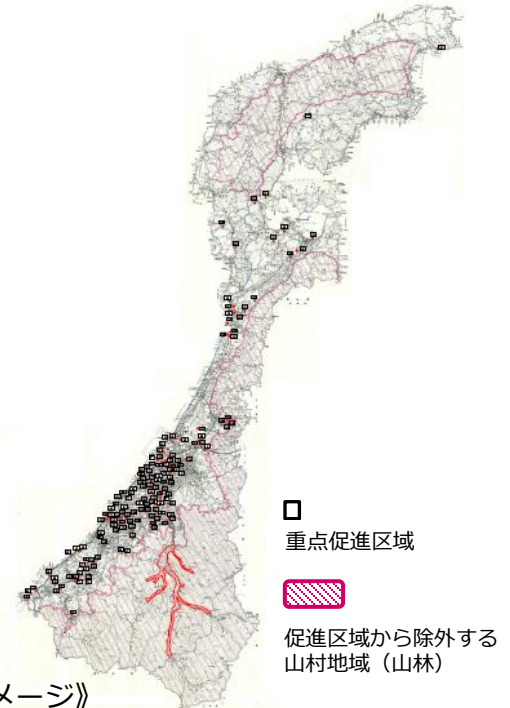
制度・事業環境の整備

- ・固定資産税の減免措置の創設（市町により適用条件等が異なる）
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応

地域経済牽引支援機関

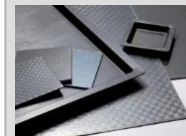
公設研究機関（県工業試験場等、県農林総合研究センター等）、産業支援機関（（公財）石川県産業創出支援機構）
経済団体（商工会議所、商工会等）、高等教育機関（大学等）、地元金融機関（地方銀行、信用金庫等）

《促進区域図》



《取り組みイメージ》

（炭素繊維）（航空機）（加賀野菜）（伝統工芸）



成長ものづくり分野

豊富な地域資源

計画期間

計画同意の日（平成２９年９月２９日）から令和５年度末日、又は、新基本方針に基づいて、令和５年度末日までに改めて新基本計画を作成する場合は、当該新基本計画の同意日の前日のいずれか早い日まで